

CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日本製紙クレシア(株)京都工場/ヘル	階数	地上3F
建設地	京都府福知山市長田野町1丁目64	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条区域内	平均居住人員	40人
地域区分	5地域	年間使用時間	6,720時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2016年8月 予定	評価の実施日	2016/6月
敷地面積	106,061 m ²	作成者	高嶋 興
建築面積	3,118 m ²	確認日	
延床面積	6,485 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★ ☆☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 63% (87 kg-CO₂/年・m²)

③ 上記+②以外の: 63%

④ 上記+: 63%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR: 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 ・工場の為、特記すべき事項はありません。	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。	
注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・高温恒湿に配慮しました。 ・室内に面する仕上げ材はF☆☆☆☆又は規制対象外のも	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・工場の為、特記すべき事項はありません。	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・特記すべき事項はありません。
注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・省エネタイプの機器をできる限り使用しました。	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・使用出来るリサイクル材はできる限り使用しました。	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・各種条例を遵守しました。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される